## 専門委員会開催報告

	一
専門委員会名 会議種別	2022 年度 第 3 回「原子カアゴラ」調査専門委員会   持続的な原子炉・核燃料サイクル検討・提言分科会
	本会議 幹事会 メール審議 その他*(
	*分科会、WG 等具体的に記入のこと
開催日時	2023年2月28日(火) 9:30~12:00
開催場所	日本原燃株式会社 東京支社第 1 会議室と webex によるハイブリッド開催
参加人数	【参加者】30名 主査:斉藤(東大) 幹事:岡村(JNFL)、小竹(原電)、白木(MHI)、竹内(JAEA)、山口(原安協) 委員:石田(NUMO)、碓井(MHI)、浦田(東芝 ESS)、太田(電中研)、 尾形(電中研)、越智(日本 NUS)、亀山(原電)、上出(JAEA)、川崎(福井大)、 川合(MRI)、川村(日立 GE)、黒﨑(京大)、小坂(MFBR)、坂下(東芝 ESS)、 佐藤(関電)、下郡(IEEJ)、田中(JNFL)、中熊(電事連)、三牧(MHI)、 雪田(日立 GE) 講師:佐野(JAEA) オブサーバ:大田(経産省)、佐藤(経産省)、村橋(経産省)
議事	1. 前回議事要旨確認 ・議事録案を確認し、特にコメント等はなく、承認された。  2. 第3回幹事会報告 ・斉藤主査より、第3回幹事会を 2/16 に開催し、中間報告書に向けた骨子案を中心に幹事間で議論した旨、報告された。  3. 話題提供 ・JAEA 佐野氏より、「酸化物燃料を対象とした湿式法による MA 回収より発生する廃棄物の試算」について説明があり、委員会で議論を行った。・山口幹事より、「原子力学会 GX ステートメント」について紹介があった。  4. 中間報告書に向けた対応について ・見直しを進めている報告書の骨子案をもとに、論点の補強や役割分担について議論した。  5. まとめと今後のスケジュール確認 ・報告書骨子案に対する委員等からの意見については、3 月中を目途にとりまとめを行うこととした。  6. その他 ・本分科会の論点等については、「日本原子力学会 2023 年春の年会」の企画セッションにおいて、本分科会の活動を紹介する予定である。
備考	
	·

## 専門委員会開催報告

専門委員会名	2022 年度 第 2 回「原子カアゴラ」調査専門委員会 持続的な原子炉・核燃料サイクル検討・提言分科会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*(
<b>△</b> □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	*分科会、WG 等具体的に記入のこと
開催日時	2022年12月16日(金) 9:30~12:00
開催場所	日本原燃株式会社 東京支社第 1 会議室と webex によるハイブリッド開催
	【参加者】 29 名 主査:斉藤(東大) 幹事:岡村(JNFL)、小竹(原電)、竹内(JAEA)、山口(原安協)、白木(MHI) 委員:浅沼(東海大)、石田(NUMO)、碓井(MHI)、浦田(東芝 ESS)、
参加人数	太田 (電中研)、尾形(電中研)、越智(日本 NUS)、亀山 (原電)、上出(JAEA)、
	川崎(福井大)、川村(日立 GE)、小坂(MFBR)、小宮山(東大)、
	   坂下(東芝 ESS)、佐藤(関電)、下郡(IEEJ)、田中(JNFL)、
	蓮池(電事連 中熊代理)、三牧(MHI)、雪田(日立 GE)、
	オブサーバ:大田(経産省)、佐藤(経産省)、弓削多(経産省 村橋代理)
	1. 前回議事要旨確認
	・議事録案を確認し、特に質問なく承認された。
	2. 第2回幹事会報告 ・斉藤主査より12/6に幹事会を開催し、骨子案資料を議論した旨、報告された。
	3. 話題提供
	・斉藤主査より話題提供として以下2件のレポートが紹介された。
	「JAEA-Data/Code 2020-005「幅広い原子力発電利用シナリオの諸量評価」
	「米国 National Academies "Merits and Viability of Different Nuclear Fuel CY」
	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -
	策」について説明された。
   議事	
	4. 報告書骨子案の議論
	・報告書の骨子案をもとに構成や記載内容について議論した。
	   5. まとめと今後のスケジュール確認
	・今後のスケジュール(3月に中間報告、9月に最終報告書)を確認した。
	・斉藤主査より、日本原子力学会 2023 春の年会理事会セッションにて「本分科会
	   の論点」について発表されることが報告された。
	6. その他
	- ・11/26に開催された革新的原子炉推進協議会のシンポジウムについて紹介され
	t=.
	・12/15 にアゴラ親委員会にて本分科会の活動報告がされ、その内容を共有し
	t
備考	

## 専門委員会開催報告

専門委員会名	2022 年度 第 1 回「原子カアゴラ」調査専門委員会 持続的な原子炉・核燃料サイクル検討・提言分科会	
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*(	
  開催日時	*分科会、WG 等具体的に記入のこと 2022 年 10 月 24 日(月) 9:30~12:00	
開催日時	三菱重工 丸ノ内二重橋ビル 2527 会議室とオンラインによるハイブリッド開催	
川田・勿り	- 変重工 メンドリー 重信 にか 2327 会議主 2 オンプインによるバインサブド 開催 【参加者】 29 名	
参加人数	斎藤主査、、岡村幹事、小竹幹事、竹内幹事、山口幹事、白木幹事 浅沼委員、石田委員、碓井委員、浦田委員、太田委員、尾形委員、越智委員、 亀山委員、上出委員、川崎委員、川合委員、川村委員、黒崎委員、小坂委員、 小宮山委員、坂下委員、下郡委員、田中委員、中熊委員、三牧委員、雪田委員、 大田オブザーバ、村橋オブザーバ	
議事	1. 委員自己紹介 ・斉藤主査、委員、オブザーバより自己紹介を行った。	
	<ul> <li>2. 設立趣旨説明</li> <li>・設立趣意書に従い、分科会の設立背景、目的、期待される成果を共有した。</li> <li>・原子カアゴラ調査専門委員会(8/5)にて本分科会が設立承認されたこと、その後、幹事会(8/17)を開催し、進め方を協議してきたこと等が報告された。</li> </ul>	
	<ul> <li>3. 話題提供</li> <li>① 革新炉 WG での議論の紹介</li> <li>・黒崎委員(革新炉 WG 座長)より、これまでの WG(#1~#5)での議論、中間とりまとめ骨子案等について紹介いただいた。</li> <li>② 地球環境問題対応検討・提言分科会での議論の紹介</li> <li>・小宮山委員(地球環境問題対応検討・提言分科会 主査)より、フェーズ II の最終報告書の要旨、主な論点等について紹介いただいた。</li> </ul>	
	4. 本分科会における論点の整理 ・今回は初会合であることから、以下の 4 項目を中心に自由に意見交換を行った。①「ターゲットをどのあたりに絞るか」、「②燃料供給について」、「③再処理や分離について」、「④バックエンドについて」 ・本日、いただいた様々な意見・コメントについて、次回会合までに幹事を中心にまとめさせていただくこととした。	
	5. 今後の進め方について ・分科会は 1 回/2 ヶ月程度の頻度でハイブリッド形式をベースに開催予定。 ・第 2 回は 12 月、第 3 回は 2 月に開催することを決定。	
	6. その他 ・本分科会の HP を開設 <sup>(*)</sup> 、本分科会の成立趣意書を HP にアップした。 (*) URL: <a href="https://www.aesj.net/sp_committee/com_agora">https://www.aesj.net/sp_committee/com_agora</a> 以上	
備考		
	1	